

## 学生トレーナー部

### 学生トレーナー部による日々のサポート

将来スポーツの分野で活躍したいと考えている学生が集まって活動するアスレティックトレーナー部。強化指定クラブを中心に部活動に参加する学生アスリートのサポートを行っています。ケガをした選手の応急処置から競技復帰までを、附属の医療施設と連携し、再発防止や予防、選手の指導に取り組んでいます。



## 栄養サポート

### 体育会系の部活生を支える「アスリート食」を提供

専属のスポーツ栄養士(管理栄養士)の監修のもと、栄養バランスを考えた2種(パワー系、持久力系)のメニューを用意。個別の栄養指導はもちろんのこと、栄養セミナーを開催し、アスリートの栄養面でのサポートを行っています。



明治国際医療大学  
アスリートサポートセンター 食アドバイザー  
桑原 彩(くわはらあや)  
MealFit代表 管理栄養士  
アスリートフードマイスター認定講師

同志社女子大学卒業。大学や実業団などのスポーツ界においてアスリートへの食事サポートを行う。

## 施設

### 大学キャンパス内に 女子スポーツ寮が完成

スポーツに励む女子学生のためのシェアハウス型スポーツ寮が2017年10月に完成。全50室の個室(洋室)に加え、共用設備も充実。管理人が常駐するなど、安心して学業とスポーツに打ち込める最適な環境が整っています。



# 創部1年目で大活躍！ 団体(3人制)全国ベスト8 各大会で存在感を発揮

春の大活躍がチームに力と責任を与えた。関西、全国と力のままに戦い抜いた結果勝ち取った全国ベスト8。この輝かしい戦績は、頂点を目指すチームに今の力と足りないものを示した。以降の練習では具体的な目標が見えたことで、必然的に取り組む姿勢にも熱が帯びた。

一方で、関西、全国において目標とされ、追いかけるチームとなったプレッシャーを、寮でともに生活し、練習、寝食をともにするチームメイトと力に変え、さらに結束を強めた。柔道部の礎はさらに強固となり、試合での戦いにおいても伝統校に負けないチームとしての強さも見せた。

創部2年目を迎える2018年。さらなる歴史と伝統を作るために、今以上に個々のレベルアップが求められる。日本のトップを知り尽くした監督の指導の下、どんな成長をみせてくれるか、ぞろぞろ期待。

大会結果			
● 5/13 全日本ジュニア柔道体重別選手権 京都府予選 (京都市武道センター)	52kg級 準優勝 刈谷美咲	80kg超級 準優勝 三吉桃子	
● 5/21 第25回関西学生女子柔道優勝大会 (尼崎ベイコム総合体育館)	女子団体3人制(1部) 優勝	1回戦 vs 関西学院大学 3-0	2回戦 vs 関西大学 3-0
	準決勝 vs 芦屋大学 1-0	決勝 vs 姫路獨協大学 ①-1	
● 6/24 全日本学生柔道優勝大会 (日本武道館)	女子団体3人制(1部) ベスト8	1回戦 vs 慶応義塾大学 ①-1	
	2回戦 vs 名城大学 2-0	準々決勝 vs 早稲田大学 0-2	



期待感をパワーに変えて、安定した戦いを見せた三吉(1年)



躍動感あふれる柔道でチームのムードを高めた河野(1年) 主将として冷静な試合運びと勝負強さを発揮した刈谷(1年)



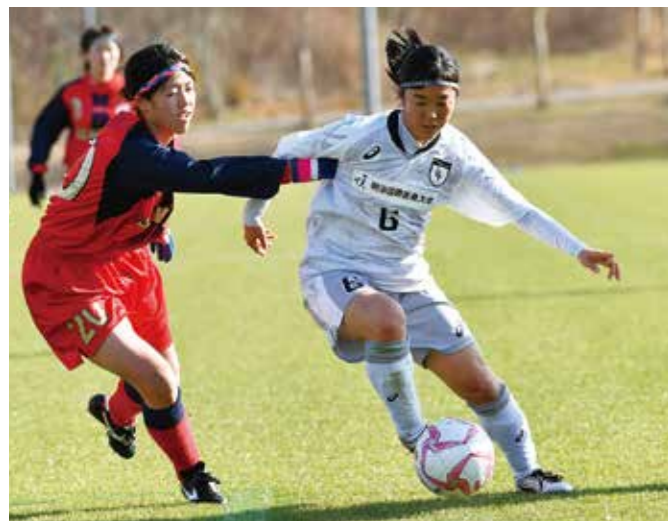
左:ハンマー投全国トップ8以上を目指しチームを引っ張る若山(1年)  
右:やり投で頭角を現した金川(1年)。春シーズンの躍動で、日本インカレを目指す。

## フィールド陣が揃って躍進。

全国でも数少ない投てき専用エリアを持つ同校。その練習、サポート環境で専門指導陣のもと、日本のトップ、世界を目指す選手たちの躍進が目覚ましい。ターンや投てき技術の向上はもちろん、ジュニア時代にケガに悩む選手たちが入学以降、ウォームアップやケア、確立されたトレーニングを通して、より充実した練習に取り組めるようになったことで、次々と結果に現れ始めた。来シーズンも、投てき陣の躍動から目が離せない。

## 医歯薬系優勝をはじめ、 関西、西日本と上位進出。 個人、団体ともいよいよ全国へ。

大会結果	
● 5/27~28 西日本学生剣道大会 (福岡大会)	ベスト16
● 6/18 春季関西医歯薬学生剣道大会 (大阪大会)	個人 優勝 中園美希 準優勝 西原好実 団体 優勝 Bチーム 準優勝 Aチーム
● 9/10 関西学生剣道優勝大会 (大阪中央体育館)	ベスト16
● 10/8 秋季関西医歯薬学生剣道大会 (高槻市首脳防災公園体育館)	団体 優勝 Aチーム 準優勝 Bチーム
● 12/16~17 全日本学生剣道オープン大会 (広島グリーンアリーナ)	中園美希 ベスト32



初出場の緊張感のなか、堂々と渡り合う明治イレブ



機度なく、ゴールに迫る自慢の攻撃陣

女子サッカー部に新たな歴史を刻んだ選手たち

## 創部2年目で 全日本インカレ初出場！ 歴史的な一歩に学内も歓喜

ついに歴史の幕が開けた。1部昇格後、皇后杯予選でパーニース京都に屈したものの、関西1部でも堂々の戦いを見せた。全国トップクラスの2校には自力の差を見せつけられたものの、3位で秋季リーグを戦い抜き、見事全日本インカレ出場を勝ち取った。

迎えた全日本インカレ初戦は、仙台大学と対戦。レベルアップして臨んだとはいえ、やはり4年生まで優秀な選手たちが集うトップレベルの場。体格、技術、メンタル、いろいろな面で成長を体感する貴重な経験となった。試合には敗れたものの、試合後「通用するところもあったが、自分たちに足りないものを痛感した。目標の日本一に向けて、前を向いて頑張りたい」と語った主将の言葉にチームとしての強い意志を感じた。まだまだ、女子サッカー部の歴史ははじまったばかり。全国での1勝へ、さらなる飛躍に期待。

大会結果	
● 2017年度春季関西学生女子サッカーリーグ(2部)	4勝0敗(2部A 1位)
● 2017年度春季関西学生女子サッカーリーグ(2部) 順位決定戦	vs 立命館大学 4-1 vs 関西大学 1-0 ☆1部昇格
● 8/27~9/24 第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権関西大会 (J-GREEN堺ほか)	1回戦 vs コノミヤスペランツァ大阪高槻 3-1 2回戦 vs パーニース京都SC 0-1
● 12/25~1/14 全日本大学女子サッカー選手権大会(インカレ) (味の素フィールド西が丘ほか)	1回戦 vs 仙台大学 0-2



3部昇格へ、攻撃の鍵を握るエース浅草(2年)

## 男子／3部昇格目前も 勝ちきれず悔しい秋シーズン。

春の悔しさを胸に迎えた秋季リーグ。全戦必勝態勢で挑むも勝ち星を重ねられず、負け越した秋のリーグ戦。しかし、チームとしての潜在能力は高い。エースを中心とした多彩な攻撃、高いコミュニケーション力、チームワークが生み出すディフェンス力はこのクラスでは間違いなく格上。3部進出へ必要なのは、相手よりもチームの実力を発揮するメンタリティ。春シーズンへ向けて、コート上で躍動するバレー部の復活に期待。

大会結果	
● 2017年度 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦(4部)	3勝4敗(4部 4位)
● 11/4 平成29年度 京都府大学バレーボール連盟 秋季男女選手権大会 (京都橋大学体育館ほか)	vs 同志社大学B 0-2
● 11/18 2017年度関西バレーボール大学男女選手権大会 (龍谷大学体育館ほか)	vs 関西福祉大学 0-2